

## PEN 英語教師塾オープン

この春、PEN 英語教師塾が正式にオープンしました。スローガンは MAKE IT MAP です。この MAP はそれぞれ meaningful、authentic、そして personal の頭文字を組み合わせたものです。提示する教材も活動も meaningful で、authentic で、そして personal なものにしよう。これがこのスローガンに込めた思いです。

PEN 英語教師塾は、ココネ言語教育研究所、阿部一英語総合研究所、いづな書店の共同主催で展開していきます。代表は田中茂範と阿部一が務めます。二人の簡単なプロフィールは以下の通りです。

### 田中茂範

慶應義塾大学環境情報学部教授。ココネ言語教育研究所所長、国際協力事業団 (JICA) 語学諮問委員会座長、ベネッセコーポレーション教育総合研究所 ARCLE 研究理事などを務める。検定教科書『PRO-VISION』(桐原書店)『E ゲイト英和辞典』(ベネッセコーポレーション)の代表編者、NHK 教育番組『新感覚★キーワードで英会話』『新感覚★表現英文法』など担当。テレビ東京『Hello!毎日かあさん』(2011-2013, 監修)、読売新聞『ポケモン!英語でひとこと (500回)』(2015-2016, 監修)。著書に『認知意味論: 英語動詞の多義の構造』(三友社)『英語感覚が身につく実践的指導 コアとチャンクの活用法』(共著/大修館書店)『コトバの意味づけ論』(共著/紀伊国屋書店)『日英語比較選書: 空間と移動の表現』(共著/研究社)『英語を使いこなすための実践的学習法: my English のすすめ』(大修館)『表現英文法増補改訂2版』(コスモピア)など多数。Language Learning, Studies in Second Language Acquisition, International Journal of Applied Linguistics, RELC など国際ジャーナルでも論文を発表。

### 阿部一

阿部一英語総合研究所所長。元・獨協大学外国語学部、及び同大学院教授。元・NHK ラジオ「基礎英語 3」(1994~96 年)講師。文部科学省をはじめ、英検や各都道府県の教育委員会・教育センターなどで、日本人教師や外国人講師にすでに300回以上の講演会、研修会、ワークショップなどを行っている。わかりやすい英語指導、音声指導については定評がある。著書は『英語感覚が身につく実践的指導 コアとチャンクの活用法』(共著/大修館書店)『Active Communicator - Improving English through Cultural Interaction』(共著/三修社)『ダイナミック英文法—生きた英語を使いこなすコツと感覚』(研究社)『日常まるごと英語表現ハンドブック』(共著/コスモピア)『基本英単語の意味とイメージ』(研究社)『基本英単語の意味とイメージ』(研究社)『コーパス口頭英作文』(共著/DHC)『英語冠詞コーパス辞典』(研究社)など多数。『アドバンストフェイバリット英和辞典』『アドバンストフェイバリット和英辞典』(東京書籍)の編者も務める。英総研では ERI コーパスと呼

ばれる独自の巨大コーパス（現在、2億語以上）を有し、種々の教材開発を手がける。

英語教育の要は英語教師です。英語教師の役割は、英語という教科を教えるだけにとどまりません。

多文化共生時代をたくましく、そしてしなやかに生きるための英語力、コミュニケーション力を生徒たちが習得できるよう指導することが期待されています。したがって、英語教師は自らの教師力を絶えず高めていくことが求められます。しかし、教師力を高めるといっても、教育現場の最前線にいる教師は忙しく、たとえ何度かの研修を受けてもなかなか教師力の向上には繋がらないという声をよく耳にします。そこで、私たちは、体系的に英語教師にとって必要なことが学べる場を提供することはできないかと考えました。

何かできることはないかと考えた末に、「オンライン教師塾」という発想が浮かびました。私たちが自信をもって提供できることといえば、応用言語学者として理論と実践を架橋する英語教育の総合的な枠組みです。どこの英語教師養成プログラムにも負けないコンテンツを作り上げようという強い思いで準備を進め、**PEN 英語教師塾**をオープンするに至りました。

**PEN 英語教師塾**では、教師力を高めるために必要と思うものを体系的に提示します。特徴としては、「動画で学ぶ」「教材を探す」「交流する」の3つがあります。それぞれについて簡単に説明します。

The screenshot shows the PEN website interface. At the top, there is a dark blue header with the PEN logo and navigation tabs: "動画で学ぶ" (Learn with video), "教材を探す" (Find materials), and "交流する" (Communicate). A user is logged in as "normal".

Below the header, the text "ログインしました。" (You are logged in.) is displayed. The main content area is divided into two columns:

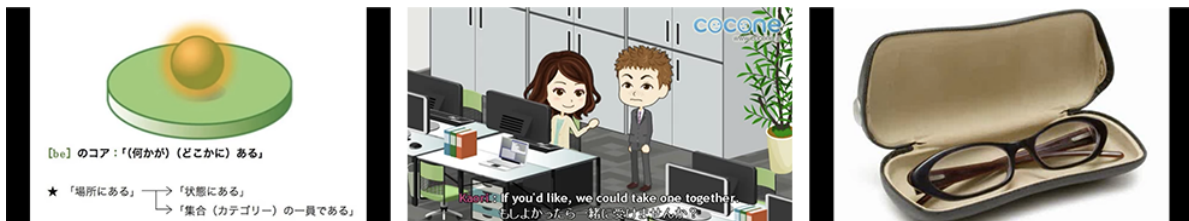
- Left Column:**
  - 動画で学ぶ (Learn with video):** A red circle highlights this section. It features a "NEW 新着動画" (New videos) section with two video thumbnails. The first thumbnail has the text "Life is too short to look back." and the second has "Don't throw away trash on the street." Below these are "MEW Core 50..." sections. At the bottom, there is a "人気の動画" (Popular videos) section.
- Right Column:**
  - 教材を探す (Find materials):** A red circle highlights this section. It features a "NEW 新着教材" (New materials) section with two PDF thumbnails titled "of (会話表現2)" and "of (会話表現1)". Below this is a "人気の教材" (Popular materials) section with two PDF thumbnails: "オンラインコミュニケーション (初級)" and "いろいろなSNS".

## 動画について

教師力を向上させるには、教育実践の拠り所となる理論と実践の両面に注目する必要があります。例えば「アクティブラーニング」に興味があるとします。文科省などの解説書を読むと「教授法・学習法」として規定されており、協働学習などその形態の1つとされています。しかし、グループワークをやらせたからといって生徒がアクティブに学んでいるとは思えないと疑問を感じる先生がいると思います。そこで、「アクティブラーニング」をどう捉えるかという問題がでてきます。こうした問題に1つの見方を示すのが動画「アクティブラーニングとエクササイズ」です。

また、現在完了形をどう説明すればその持ち味が理解されるかということに疑問を感じた先生方に観ていただきたいのが動画「現在完了形」です。大きくは、理論的な背景（考え方）と個別具体的な問題をバランスよく提供していきます。

授業で使う、復習をするなどの目的のため、動画で使っているスライドを、できるだけ多くの先生方に活用していただきたいという思いから、そのままダウンロード可能としました。

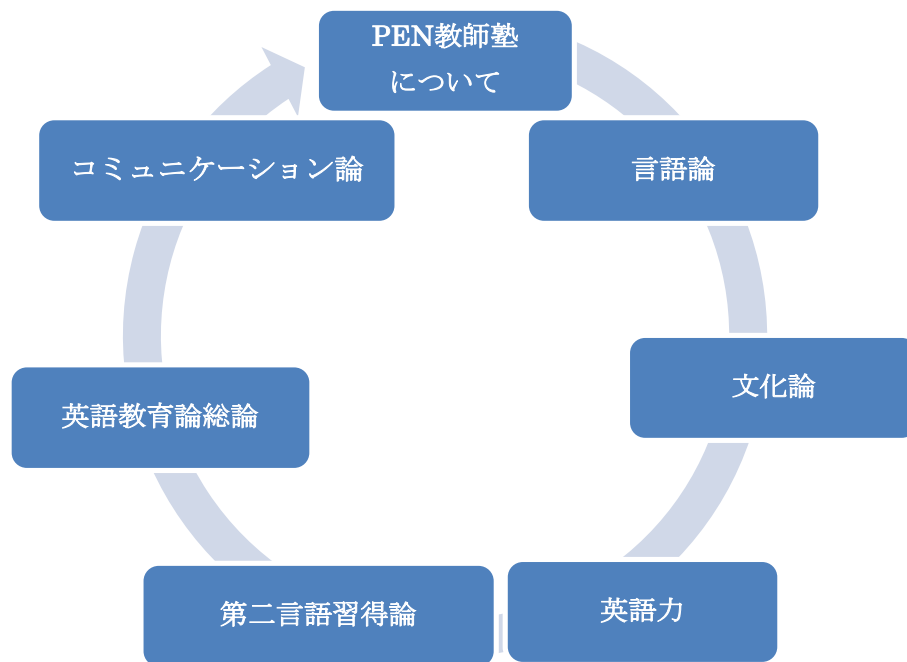


初回のリリースは130本の動画ですが、英語教育の諸相をかなりの程度カバーしていると思います。さらに、日常を1分程度の会話で描写した『アニメで日常』94本（スクリプトダウンロード可）、英文の組み立て方を可視化した『分かる！英語のプロセス』60本（プロセスを描写した写真のダウンロード可）、基本動詞と前置詞の使い方を解説した『MEW Core 500』74本（テキストダウンロード可）が加わり合計350本程度の動画を見ることができます。英語教育のさまざまなニーズにさらに応えるため、今後も動画を定期的にアップロードしていく予定です。

## CIFLE 動画講義の内容 2017年4月

PEN 英語教師塾では、理論と実践を架橋する講義をお届けします。4月現在のラインアップは以下の通りです。

### 理論編



#### 1. 教師塾について

- ・PEN 英語教師塾（対談）
- ・新しい英語教師に向けて（対談）

#### 2. 言語論

- ・言語とは何か
- ・メタファ論

#### 3. 文化について

- ・文化論
- ・Be an earth person
- ・グローバルパーソンを育てる

#### 4. コミュニケーションについて

- ・コミュニケーションと意味理解
- ・意味の不確定性と共有感覚

## 5. 第二言語習得理論と教授法について

- ・ 第二言語習得論 1：総論
- ・ 第二言語習得論 2：対象分析とオーディオリンガリズム
- ・ 第二言語習得論 3～4：誤答分析と第二言語習得研究
- ・ 第二言語習得論 5：教育的示唆
- ・ 言語転移論
- ・ 動機づけ論
- ・ 概念形成論 1：語彙学習の基礎理論
- ・ 概念形成論 2：観念対象
- ・ SLA に基づく教授法
- ・ 教授法 The Silent Way & CLL
- ・ 第二言語発達に土の影響を与える要因

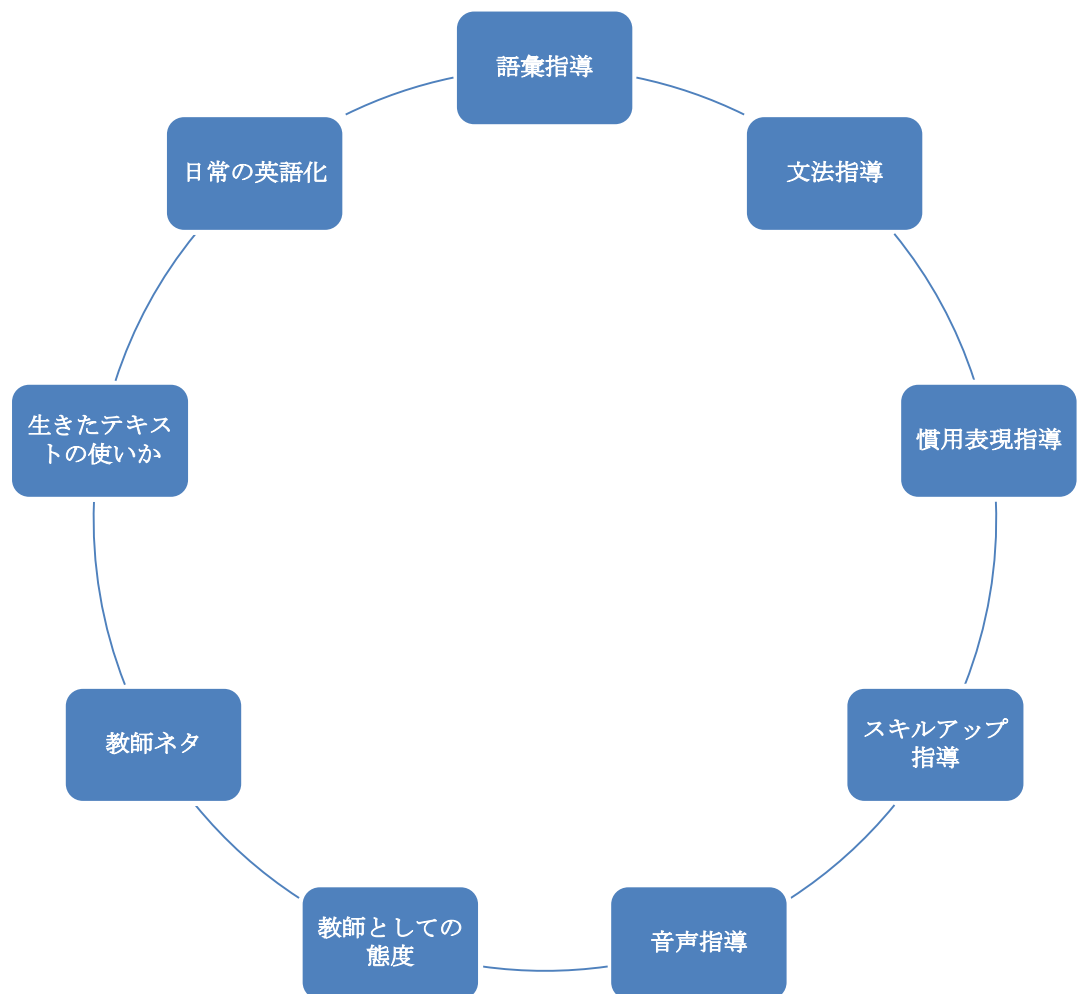
## 6. 英語教育総論について

- ・ 英語論・英語教育論
- ・ ICT と英語教育とアクティブラーニング
- ・ 教科書をコミュニカティブに使う 1：総論
- ・ 教科書をコミュニカティブに使う 2：context-setting
- ・ 教科書をコミュニカティブに使う 3：content-construction, language in text
- ・ 教科書をコミュニカティブに使う 4：discussion & presentation
- ・ チャンキング的発想を鍛える
- ・ まとまった内容を話す方法としてのナビゲーター論
- ・ 評価論：英総研の場合
- ・ My English 論
- ・ アクティブラーニングとエクササイズ論
- ・ Authentic であること
- ・ Meaningful であること
- ・ Personal であること
- ・ 英語は英語で
- ・ 指導要領に合った英語力評価（テスト）の再考
- ・ エクササイズ論：総論
- ・ エクササイズ論：Awareness-raising
- ・ エクササイズ論：Comprehension & Production
- ・ エクササイズ論：Networking

## 7. 英語力について（総論）

- ・ 英語力とは何か：タスク論を中心に
- ・ 英文法について考える：表現英文法
- ・ 拡張語彙力を育てる－ネットワークの活用－
- ・ 慣用表現力を育てる

## 実践編



### 8. 語彙指導について

- ・ いろいろな前置詞
- ・ 基本語力とコア理論
- ・ 基本動詞・前置詞トレーニング方法
- ・ 基本動詞の力を鍛える
- ・ 単語は関連づけて学ぶ
- ・ 動詞力とは何か
- ・ 有効な語彙ネットワークの学び方－EIJ メソッド－

### 9. 具体的な語彙の扱い

- ・ BE の世界
- ・ GIVE の世界
- ・ GO と COME
- ・ HAVE の分析

- ・ LOOK & SEE & WATCH の違いを解説する
- ・ PUT の意味世界
- ・ 基本動詞 BREAK の世界
- ・ 基本動詞 MAKE
- ・ 基本動詞 RUN の世界
- ・ 基本動詞 TAKE の世界
- ・ 発話動詞の使い分け

#### 10. 前置詞について

- ・ 英語前置詞 IN の世界
- ・ 前置詞 AT の世界
- ・ 前置詞 ON の世界
- ・ 経路前置詞 across・over など
- ・ 前置詞 under below
- ・ 前置詞 over above beyond
- ・ 前置詞 by
- ・ 前置詞 for
- ・ 前置詞 of
- ・ 前置詞 to
- ・ 前置詞 with

#### 11. 句動詞について

- ・ TAKE が繰り広げる句動詞
- ・ RUN の句動詞の世界
- ・ GIVE の句動詞
- ・ PUT 関連句動詞
- ・ CARRY の句動詞
- ・ 句動詞の世界

#### 12. 文法の指導について

- ・ 仮定法
- ・ 受動態をどう教えるか
- ・ 英語の冠詞について
- ・ 時制：現在単純形
- ・ 時制：現在進行形
- ・ 時制：現在完了形
- ・ 時制：過去を語る（テンス・アスペクト）
- ・ 未来を語る表現
- ・ 助動詞 can と be able to など
- ・ 打消しの仕方：否定構文
- ・ 動詞構文：“動詞+A+前置詞+B”の構文

- ・ It を主語にした慣用構文
- ・ 後置修飾タイプ A (形容詞句・前置詞句・副詞 (句)・現在分詞・過去分詞・to 不定詞)
- ・ 後置修飾タイプ B (関係詞節)
- ・ 助動詞 would, could, might, should
- ・ 副詞のはたらき 強弱の調整
- ・ 名詞節について
- ・ 再帰代名詞のはたらき
- ・ 使役動詞
- ・ 動詞のタイプ：他動詞・自動詞など
- ・ 動詞の構文 1：動詞＋ $\phi$ 、動詞＋名詞・形容詞・副詞・前置詞句
- ・ 動詞の構文 2：動詞＋名詞＋名詞
- ・ 動詞の構文 3：動詞＋名詞＋形容詞・副詞・前置詞句
- ・ 動詞の構文 4：動詞＋to do / doing
- ・ 動詞の構文 5：動詞＋名詞＋to do/ do/ doing
- ・ 動詞の構文 6：動詞＋that 節/w h 節、動詞＋名詞＋that 節/w h 節
- ・ 比較構文 1：比較、原級
- ・ 比較構文 2：比較級
- ・ 比較構文 3：最上級

### 13. 慣用表現の指導について

- ・ 依頼の表現
- ・ 会話の流れを調整する
- ・ 断る・反論する
- ・ 前口上を述べる

### 14. チャンキングの実践

- ・ チャンキングからレシテーションへ
- ・ 文法をチャンキングの中で指導する
- ・ 翻訳の視点を取り入れた指導：The Baked Bread を題材として

### 15. スキルアップ

- ・ アカデミックライティングの書き方
- ・ プレゼンテーションの仕方

### 16. テキストを利用した指導

- ・ Apple Press Info：ジョブズの訃報と現在完了
- ・ オバマ受諾演説：否定反復と肯定的メッセージ
- ・ Teaching Resources：20 short reading passages の使い方

### 17. 声を鍛える

- ・ 音読のためのヒント 1
- ・ 音読のためのヒント 2
- ・ 英語の音の特徴をつかむ



- ・リスニング力を鍛える方法：総論
- ・つながる音とくっつく音と縮む音
- ・アンカー母音で英語の口慣らしを
- ・「ア」系の母音2
- ・スーパー音読法
- ・子音力

### 18. 授業態度について

- ・英語教師のNGワード1～2
- ・英語教師のNGワード3：「研究するのは面倒くさい」
- ・英語教師のNGワード4：出来ない生徒へのきっかけづくりは音声指導が効果的

### 19. 教師ネタ

- ・ワンポイント教師ネタ
- ・よい用例のを見つけ方と活かし方
- ・授業の投げ込みネタ：help を事例に

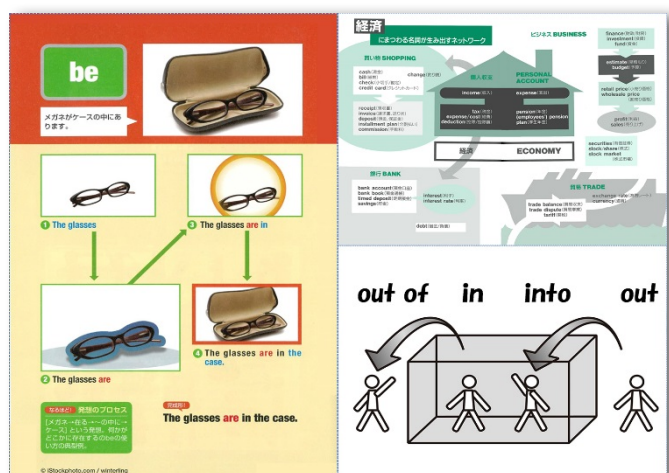
### 20. 日常の英語について

- ・日常の英語化1：起きる場面
- ・日常の英語化2：顔を洗う、歯を磨く
- ・日常の英語化3：通学・通勤（電車）
- ・自分のことを語ろう（中学生編）

## 教材について

「教材を探す」という機能を使うことで、先生方がすぐに授業で使える教材を探し、ダウンロードできるようにしました。この教材のことを TR、すなわち teaching resources と呼びます。A4サイズに収まるようにフォットショップで加工し、初回のリリースは約1,000点です。内容は、「品詞別（名詞、動詞、前置詞など）」「文法別」

「話題別」「その他（リーディング素材など）」のカテゴリを設け、コアイメージ、ネットワーク情報、エクササイズなどを取り揃えています。著作権はクリアされていますので、授業の一環としてご利用いただければ幸いです。動画の内容と関連づけることが可能な TR は、動画画面からもダウンロードができます。



## 交流について

PEN 英語教師塾で重要な役割を果たすのが「交流する」という機能です。掲示板を利用して、日々感じたことなど投稿し、それに対して会員同士がディスカッションを行うといったやりとりを通して、教育現場で生まれる種々の問題の解決の場としての役割を果たすことが期待されます。教師塾のアドバイザーを務める田中茂範、阿部一も積極的にディスカッションに加わりたいと考えております。まさに、協働学習の場（アゴラ）がオンライン上で提供できればと願っております。

## 会員になるために

PEN 英語教師塾の会員になるためには、ウェブ上でご本人のメールアドレスを用いて登録して頂く必要があります。

公式 WEB サイト：<http://pen-edu.jp>

年会費：20,000 円（税込）

なお、今なら期間限定で、年会費が特別価格になっております。

《キャンペーン価格》15,000 円（税込）

《キャンペーン期間》2017 年 6 月 30 日まで

以上が **PEN 英語教師塾** の特徴ですが、動画と TR を定期的にアップロードするだけでなく、塾としての機能性を高めるよう絶えず進化する教師塾を目指していきます。

**田中茂範** PEN 英語教師塾代表

**阿部一** PEN 英語教師塾代表

**佐藤芳明** PEN 英語教師塾副代表